

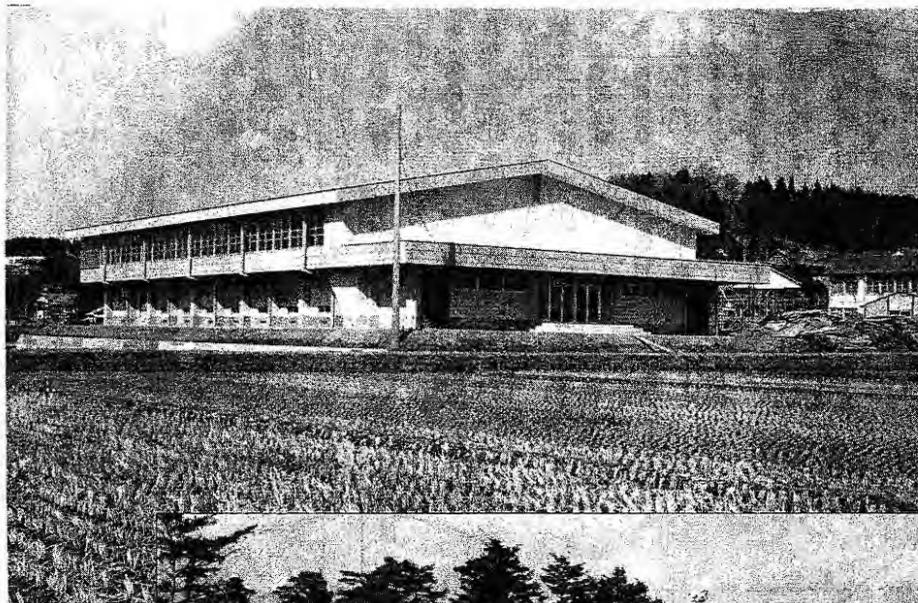
村のようす

(50年4月1日現在)

世帯数 1,417戸 (-4)
 人口 7,191人 (-41)
 男 3,515人 (-13)
 女 3,676人 (-28)
 面積 46.62km²

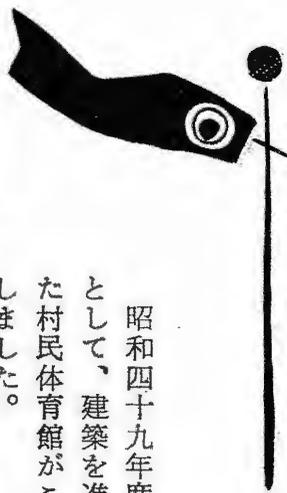
広報 たまかわ

編集・発行
 福島県石川郡
 玉川村役場企画課
 印刷所
 須賀川市加治町69
 (株)円谷印刷



村民体育館完成 村営住宅も

④ 村民の体育向上に利用される体育館
 ⑤ 入居間近い村営住宅



昭和四十九年度の重点事業として、建築を進めていました村民体育館がこのほど完成しました。

この体育館は、白河市の鈴木建築設計事務所的设计、石川町の水谷工業株式会社の請負で工費五千九百一十円で、総面積千三平方メートルの中には、バスケットボールコート一面、バレーボールコート一面、家庭バレーボールコート一面、バトミントンコート二面などのほか、更衣室、シャワー室、水洗便所を備えた近代的なものです。

この体育館が完成したことにより、各種スポーツがますます盛んになるものと期待されています。

また、二千二百二十万円の工事費で、竜崎字和久地内に建築中でありました村営住宅竜崎団地十戸も完成し、住宅行政が一步前進したと言えますよう。

わが村の予算 一般会計 7億3千400万円 伸び率44.9パーセント

五十年度の当初予算が三月定例会において議決されました。今年の予算は、一般会計七億三千四百一十万円、昨年対比四四・九パーセントの伸びの大型予算となりました。その中で特に大きな伸びを示しているものをあげると、福祉関係が老人、乳幼児医療負担、児童手当の支給範囲等の拡大、環境衛生事業費の増大などにより、二・一五倍と伸び、農政関係においてもへき地振興事業、特産振興事業農用地開発、地積調査事業などによるものと、四十九年度よりの継続事業として、五十年完成をめざす就労センター建設などにより二・七倍と伸びております。

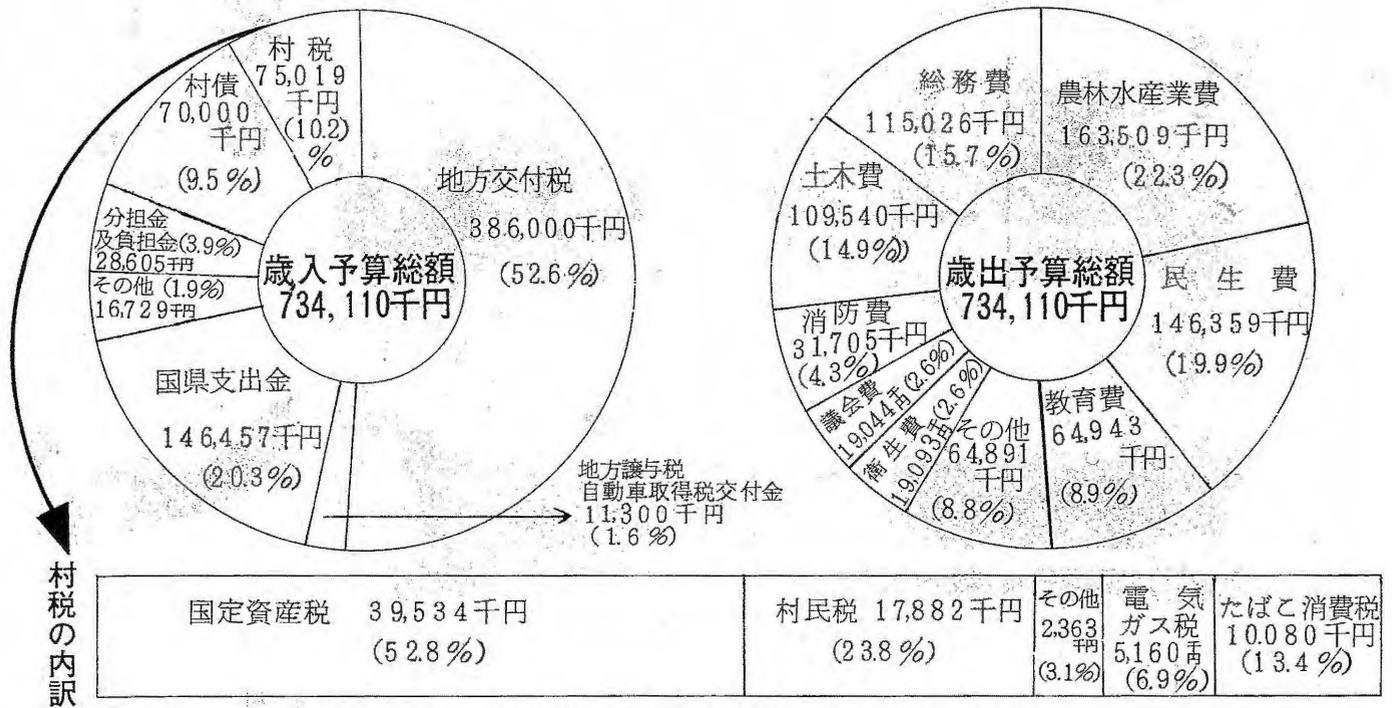
また国保特別会計も昨年と比較すると、五一・九パーセントの伸びとなっています。これは医療費のアップと、諸給付の改善によるものです。

なお、一般会計、国保特別会計、水道事業会計の歳入、歳出の内訳は、次のグラフのようになります。

50年度一般会計予算

歳入内訳

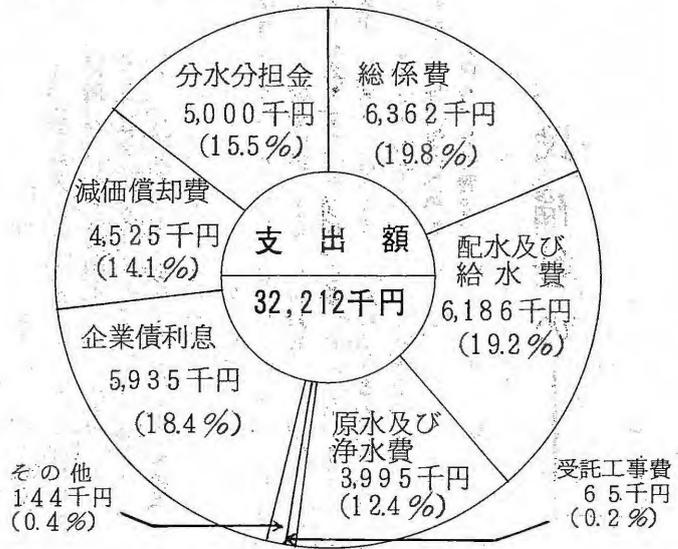
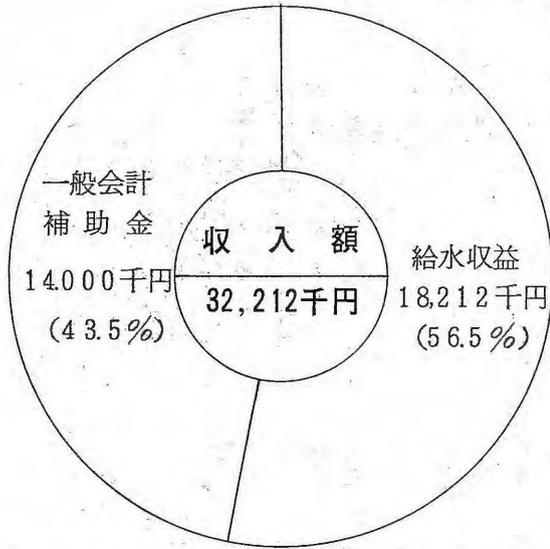
歳出内訳



50年度国民健康保険特別会計予算

歳入	国庫支出金	103,149 千円 (54.9%)	繰入金 9,120 千円 (4.9%)	国民健康保険税	74,901 千円 (39.8%)	その他 825 千円 (0.4%)
	予算総額 187,995 千円					
歳出	保険給付費	165,995 千円 (88.2%)				
			総務費	65%	12,254 千円	保健施設費
		その他 5,054 千円 (2.7%)				

50年度広域簡易水道事業会計予算



昭和三十九年第一回定例議会の開催にあたり、昭和五十年年度予算案などの議案を提出して村政担当の所信を明かにし、併せてそれを具体化する重点施策について申し述べる機会を得、議会を始めとする村民の皆さんのご理解とご協

◎村長の施政方針

昭和三十九年第一回定例会は、三月八日招集され、八日間の会期中に村長の施政方針の開陳、および提案理由の説明に続いて、一般質問があり、提出議案二十五件を慎重審議し、原案どおり可決しました。また、請願書六件のうち、四件が採択となり、二件は不採択となりました。

今回は、三月定例議会から、就労センター、保育所、村営住宅の建設、商工会館建設助成、道路等の整備のための、「七億三千四百一十一万円」にのぼる大型積極予算を内容とする、村長の施政方針を掲載いたします。

力を心からお願いを申し上げる次第であります。願われ、昭和三十九年四月村民の皆さんのご支持とご鞭撻のもとに、村長に就任をして、「豊かな郷土、明るい村政」の実現を旨として私のもつ若さ、と、エネルギーのすべてを注ぎ、公平誠実、奉仕の初心を貫くこととお約束し、村民相増進のための施策の計画と、

村長の施政方針

『三月定例議会から』



議会だより

実践をした過去を顧みてまさに感慨無量なものがありません。今任期を終ろうとして自ら襟を正し、謙虚に反省し、静かに住民の皆さんの厳粛な審判を待ちたいと思えます。

その間村政進展のために、温かいご理解とご協力をいただきました。議員諸公を始めとする村民の皆さんに心から厚く御礼申し上げる次第であります。

一九七〇年代は早くから激動と変革の時代と云われて来ました。そして本年は繁栄からの撤退と云う試練の中に立ち、経済不況の中で、価値の見直し、経済体質の改善を余儀なくされ、いわゆる総需要抑制のもとに、地方自治は誠にきびしい事態となって参っております。世界の驚異とされた経済成長は、地域の開発と整備を促進し、国民生活水準の向上をもたらしましたが、その反面、物価、公害、地域格差、農業の衰退等の、ひずみとなって現れ、それらの課題の解決をせまられておる現状であります。そして新しい政治の方向は、これらのへい害を是正した、安全性、健康性、を重視した適度な経済の安定成長と、人間尊重、生活優先の高福祉社会建設への政策転換がなされなければならぬと思えます。

私達の玉川村も、この情勢の中にあつて、後進地域からの脱出を企図し、より住みよ

い、より豊かな、人間性あふれる地域社会の創造のため、必要な各種の地域課題の解決と実現のために努力しなければなりません。そして農村としての美しい生活環境を保全しながら、秩序ある土地利用計画に従って開発整備を進め、必要な公共施設、生活環境施設の充実をはかり、いわゆる都市的住民サービスの強化を促進し、併せて産業の振興による、一・二・三次産業の均衡と調和のとれた住民所得の増大をはかつて、住民の期待と要請にこたえたいと存じます。

私は就任以来、玉川村の当面する地域課題を一、村民福祉の増進、二、生活環境の整備、三、教育文化の振興と施設の充実、四、産業振興による住民所得の増大、の四点に集約し、これを一貫して重点施策として掲げ、計画的な実現をはかつて参ったつもりであります。

ご承知のように本年度予算編成をめぐる情勢は誠にきびしいものがあります、総需要抑制施策の継続と、経済不況を背景とした公共投資の抑制、補助金、地方債の制限等のほか、人件費、物件費等の

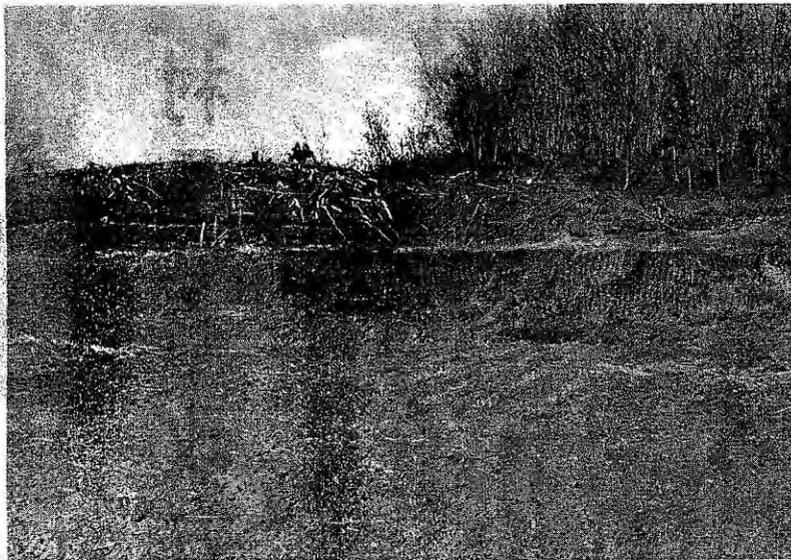
異常な昂騰は地方財政を硬直させ、投資財源の確保を圧迫しております。更に多様化、かつ広汎に亘る財政需要は累増しておりますが、収入財源との均衡を保つために、重要度の緊急度を考慮しながら、重点施策の撰択をした次第であります。

本年度の一般会計予算は提案しました様に、総額七億三千四百一十一万円の巨額になり、前年度に対比してまさに四十四・九パーセントの伸びを示し、いわゆる大型積極予算であります。その内容は消費的経費の節減に留意し、投資的事業の拡大を企図しながら、特に自主財源の投入割合の少ない、有利な補助事業の撰択導入によって、特定財源二億五千四百七十九万円を確保したことであり、しかもながら、就労センター、保育所、村営住宅、道路等の多額の投資事業を盛り込んだ本年度の財政運営は、相当にきびしいことが予想されますので議員各位のご理解とご協力を賜りたいと思っております。次に本年度の重点施策についてご説明をいたしたいと思います。

住民福祉の向上について

いわゆる高度経済成長から福祉優先への政策転換に対応し、村民が健康で安心して幸せな生活を保障する事業の推進と、施設の整備を進めて参る所存であります。まず泉保育所の改築であります、この案内のように老朽危険校舎に保育所を設置して数年を経過

将来、須釜保育所及び幼稚園の設置を検討したいと考えております。次に村民の健康を守る事業であります、国民健康保険の医療給付の改善と増大に伴って、国保税負担が限界に達して来ましたが、その軽減をはかるため一般会計からの繰入金を増額



▲ 取得された村営住宅用地 (南須釜字長内地区)

しましたが、本年度八十人規模六百平方メートルの近代的な保育所を新築し、幼児の保育と教育の場に供したいと思っております。

尚保育児童の増加と幼児教育の重要性を考え、更に近い

し、或は各階層の健康診断、予防衛生等を充実し、更に子供と老人の福祉、更に社会的弱者救済の施策等きめ細かい福祉行政の展開をはかつて参りたいと考えております。又消防ポンプ車、積載車等

生活環境の整備について

住民の要請の高い道路の整備がありますが、給水開始後日も浅く、その公共性、福祉性を考慮して一般会計から相当額の繰出しを行ない、住民福祉に寄与したいと思っております。

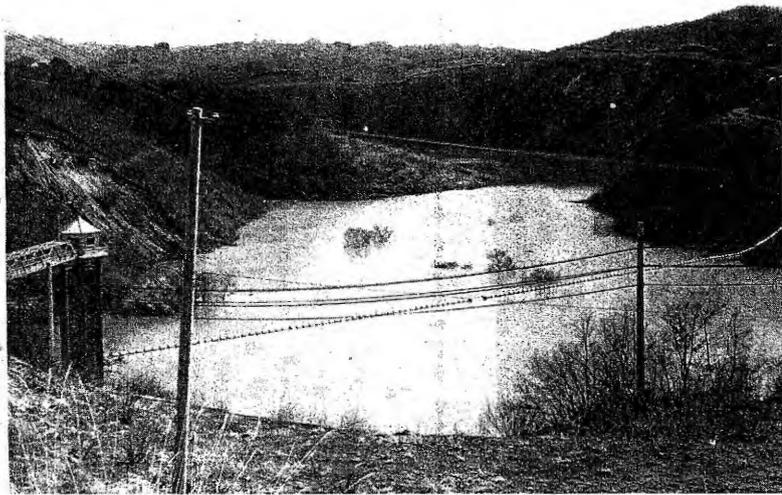
又住民多年の望みの的であった電話の自動化と通話区域の拡大も、この程ようやく達成されて、一部地区が区域外となった問題を残しはしませんが、概ね七十パーセント前後の加入率が達成されますことは、誠にご同慶にたえないところであります。その他、

又地域整備の均衡と過疎対策として、須釜地区に村営住宅十戸を建設する計画で、概ね敷地の取得を終って実現の運びにつきたいと考えております。次に水道事業の運営であります。

尿、じん芥、危険物等の処理を広域行政の高効率の中で進め、交通対策の充実強化も併せてはかりたいと考えております。

教育文化体育の振興と施設の充実について

経済の繁栄を担い、或は社会開発を進め豊かな未来をつくるものは人であり、教育文化の振興を果す役割は誠に重要であることは云うまでもありません。



▲ 試験貯水の始まった千五沢ダム

郷土愛に目ざめた相互の尊敬と信頼による思いやり深い、創造力が豊かで実践力に富む新しい人間像をつくり出しますことは、地域社会全体の責任でなければならぬと思います。

そのため義務教育施設の整備と、備品教材等の充実をばかりながら、更に、青年団、婦人会、老人クラブ等の社会教育、並びに社会体育の振興を積極的にはがって参りたいと思っております。

本年は待望の村民体育館の完成を見ましたので、村内各層の多方面に亘るこれが活用をはかって、健全な心身の養成に資したいと思っております。

尚近代的な就労センターも隣接した場所に建設される計画でありますので、社会教育の場としても充分な利用を期待する次第であります。

又川辺小学校の新築を来年度に想定し、本年度はその道路の整備等を進めたいと考えております。

産業の振興と 住民の所得の 増大について

住み良い豊かな村づくりの基礎をなすものは住民の所得の増大でなければなりません。

農、商、工を一体とする均衡と調和のとれた産業構造をねらって、第二次、第三次産業人口の増加を進めるかたわら、農業の近代化、合理化等の体質改善と併せて総合的な世帯所得の増大が確保されて参りましたが、昨今の農業及び企業をめぐる情勢は誠にきびしく、憂慮すべき事態に直面しておることを認めざるを得ません。

企業と従業員と双方の検討と協力によって、この危機が打開される様期待したいと思っております。村はこの情勢を適確にとらえて、国内食糧需給度の向上と地域分担の方向を見定めながら、新しい農政の展開に対応して、高効率、高生産の首都圏農業の確立をはかって参りたいと思っております。

まず国営母畑総合農用地整備事業の導入については、目下本同意をとりまとめ中でありますが、南須釜及び吉地区

で実施されつつあり、営農計画の円滑適正な実施によって玉川村の営農基盤は面目を一新するはずで、基幹作物の近代化と主産地形成を促進したいと考えております。

特にたばこの大型ハウスの建築助成を行ない、百町歩以上の本村の基幹作物として定着する様な、各種の奨励措置を講じたいと考えております。又村単独の小規模土地改良事業も、恩恵の少ない山間部に需要の高いことを考慮して、本年度も継続して要望にこたえたいと存じます。

その他農協との提携の強化、或は野菜指定産地補助事業、へき地振興事業等の導入をして農業の体質改善と、所得増大に必要な措置を進めたいと考えております。

次に就労センター建設は、今年度における最大の事業であります。農村工業導入促進地域特別対策事業として、面積八七三・五平方メートル、総額約九千万円を超える規模で、完成後は隣接する体育館と相俟って、本村の会議、集會、研修、娯楽、ポスツ等

のセンターを形成し、大いにその機能を發揮して住民福祉に寄与するであろうと期待をしております。

又今年度は玉川村商工会が商工会館を建設する手はずであります。その敷地を貸付け、更には建設補助金として五百万円を交付して商工業の振興をはかりたいと考えております。

以上本年度の村政担当の所信と、重点施策の概要について申し述べましたので、議員各位のご批判とご叱正をいただき、村民の皆さんの理解あるご協力を賜りたいと思っております。

地方自治をめぐる最近の情勢は誠に厳しく益々複雑多様化を深め、行財政需要も今や質、量ともに増大し変容をとげております。この現況の中で私は、村政執行の責任者として、行政機構の検討、職員の適正配置、能力開発等を進めると共に、全体の奉仕者としての自覚と責任感を全職員に徹底し、行政効率の向上と住民サービスの向上に努め、信頼される役場の確立を約束したいと思っております。

玉川村合併二十一年目の記念すべき年、昭和五十年は、住民の幸せを求めて努力と蓄積を続けて来た長い過去の歴史の上に、新しい豊かな未来を築き上げる最も有意義な年でありますように、お互いの対話と協調の力強い村づくりを提唱して、所信の表明といたします。



老人、こどもは、逃げやすいところへ寝かせましよう

煙はあなたより速い

た

教職員の異動

村内の小中学校教職員に次のとおり異動がありました。

転入者

- 玉川一小 永盛小 教諭 長尾修平
- 石川小 教諭 佐藤文子
- 養護 藤田慧子
- 須釜小 教諭 宇佐見 伝
- 須賀川二小 教諭 水野純一
- 大原小 主査 永沼順道
- 小平中 主査 伊藤悦子
- 入遠野小 校長 西間木 昇
- 小平小 校長 添田俊夫
- 表郷中 教諭 江藤圭子
- 大田小 校長 鈴木康資
- 浅川小 教諭 小針ミサヲ

- 新採用 教諭 引地郁代
- 教諭 伊藤政夫
- 昭和中 教諭 大川原陽子
- 新採用 養護 八巻トキ
- 内川小 校長 添田俊夫
- 表郷中 教諭 江藤圭子
- 渡辺孝和 教諭 渡辺孝和

- 新採用 教諭 穂積淑子
- 教諭 穂積淑子
- 玉川一小 教諭 小林喜子
- 教諭 遠藤恭司
- 石川小 教諭 中野文一郎
- 川辺小 校長 鈴木康資
- 小針ミサヲ 教諭 小針ミサヲ

- 永盛小 須釜小 教諭 鈴木英夫
- 要田小 泉中 養護 助 幕田幸子
- 南山形小 教諭 郷 信子
- 退職 須釜中 校長 根本孝教
- 石川小 教諭 円谷春子
- 須賀川二小 教諭 深谷 巖
- 山橋中 泉中 教諭 水野正至
- 石川小 教諭 高橋勇二
- 富田中 講師 村井悦子
- 須賀川養護 教諭 金沢文夫



健康優良児を表彰

昭和四十九年度の玉川村健康優良児の表彰式が、三月二十四日公民館日本間で行なわれました。

・今回の対象者は、四十八年四月一日より四十九年三月三十一日まで生まれた百七名で、その中から心身の発育状態、医師の健康診断並びに健康相談回数、予防接種の状況などについて、助産婦、保健婦などが検討して選んだ二十三名(男十九名、女十四名)に表彰状と記念品が贈られました。

健康優良児の表彰式

- 沢幸彦(幸徳、南須釜) 小針満理子(満、小高) 大野真記(長三郎、南須釜) 野口美保(信次、中) 榊幸子(正夫、北須釜) 大和田誠(春良吉) 野崎敦子(鎌一、川辺)
- 須藤孝一(利夫、川辺) 小原幸枝(安春、南須釜) 佐藤明子(重光、竜崎) 小針幸恵(幸吉、中) 鈴木信幸(庄二、竜崎) 近内勝喜(清一、南須釜) 鈴木厚志(由正、川辺) 班目千恵子(忠義、南須釜)
- 小林裕子(森男、竜崎) 小林さやか(一之、竜崎) 近内正浩(正治、南須釜) 小林里美(覚雄、竜崎) 須藤忠(一夫、川辺) 車田昭典(昭一、小高) 遠野裕美子(縣、南須釜)

一年間よろしく 各部落区長決る

各部落とも区長さんが改選され、新しい区長さんに次の方々が就任しました。

一年間よろしくお願ひします。

- 中 小針英章
- 岩法寺 佐久間 今朝吉
- 竜崎 岡部 正光
- 南須釜 宗形 四郎
- 北須釜 野口 庄一
- 吉 佐藤 四郎一
- 山小屋 石森 仲夫
- 四辻新田 飯田 源一
- 川 辺 小針 善治
- 蒜 生 大竹 邦信
- 小 高 溝 井 正 八

県出産手当 支給条例廃止

今まで、第四子以降を出産した場合に、出産手当(五千円)が支給されておりましたが、昭和五十年四月一日より廃止になり、支給されないことになりましたのでお知らせします。



念仏踊の録画取り

九州の旅 溝井 一郎

みちのくの雪路の中を旅立ちて天満宮の梅の花みる
 暖き国とは云へど嬉野の温泉の街は雪ちらつかり
 西海橋よりのぞき見下す海の面は水泡たちて白く流れぬ
 長崎農協の店舗見学する間故郷より高き蜜柑を買ひぬ
 吾の肩をたゝきてくれる孫の力去年より強く身体にしみる

木々の芽やこころまつしき己が日々
 末枯や畦に傾く野の仏
 春寒し堤を洩るる水の音
 湧きつぎて安達太良はなる春の雲
 淡雪の敷きて咲き初む水仙花
 立春の杜の浅きに雉子鳴けり
 凍解けの畦のくずれて田麩翔つ
 凍雲や白樺の秀に風ありて

拙 郎

念仏踊り テレビで紹介



南須釜東福寺に伝わる花笠
 念仏踊りが、四月二日午後六
 時からの福島テレビ「FTV
 テレポート」で紹介されまし
 た。

三月二十五日にはその録画
 取りが東福寺境内で行なわ
 れ、縫船真さんや大野ケサ
 さん、それに踊り子など関係者
 約三十人が出演しました。

放すまい、子どもへ
 くばる目、つないだ手

寿

お誕生おめでとう
ございませす

(三月分の出生届書から)

川部	川部	中	竜崎	南須釜	山小屋
吉田	老沼	坂本	田子	鈴木	永谷
出生児氏名	村こずえ	貴幸	章子	奈緒美	林吉美
世帯主名	和多美	和義	治平	敬二郎	政吉
続柄	三女	二女	孫	孫	孫
川部	川部	中	竜崎	南須釜	山小屋
吉田	老沼	坂本	田子	鈴木	永谷
出生児氏名	村こずえ	貴幸	章子	奈緒美	林吉美
世帯主名	和多美	和義	治平	敬二郎	政吉
続柄	三女	二女	孫	孫	孫
川部	川部	中	竜崎	南須釜	山小屋
吉田	老沼	坂本	田子	鈴木	永谷
出生児氏名	村こずえ	貴幸	章子	奈緒美	林吉美
世帯主名	和多美	和義	治平	敬二郎	政吉
続柄	三女	二女	孫	孫	孫

ご逝去お悔み申し上げます

(三月分の死亡届書から)

川部	川部	小高	竜崎	南須釜	南須釜
吉田	溝井	小林	三吉	小林	中沢
死亡者氏名	貞佳	トメ	キヲ	正博	吹アキ
年令	(71)	(68)	(48)	(77)	(82)
世帯主名	直人	文一	重敬	佳一	昭七
続柄	祖母	妻	妻	父	祖母
川部	川部	小高	竜崎	南須釜	南須釜
吉田	溝井	小林	三吉	小林	中沢
死亡者氏名	貞佳	トメ	キヲ	正博	吹アキ
年令	(87)	(87)	(86)	(85)	(85)
世帯主名	直人	文一	重敬	佳一	昭七
続柄	祖母	妻	妻	父	祖母